

小学校第5学年 社会科学習指導案

日時 平成25年6月20日(木) 2校時

指導者 教育センター所員 田本 正一

1 単元名 これからの食料生産とわたしたち

2 単元設定とその理由

○本単元は、学習指導要領第5学年の「内容(2)のア」である「様々な食料生産が国民の生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあること。」を受けたものである。本単元では、国民の食生活を支える主要な食料は、国内の各地で生産されたものだけでなく、外国の輸入に依存しているものがあることを具体的に調べる活動を行う。さらに、地図や地球儀、統計資料などを活用して主な食料のうち自給率の低い食料の品目や輸入先を調べる活動を行う。また、ここでの学習と関連付けて、我が国の貿易の役割について扱うことも考えられる。

これらの学習を通して、我が国の農業や水産業は国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを考えることができるようにする。

○本学級の児童に対して、「外国から輸入している食料にはどんなものがあると思いますか」という問いを行ったところほとんどの児童が「バナナ」や「小麦」などを答えるなど、具体的に知っていることが分かった。しかし、「食料自給率」という言葉を聞いたことある児童は15%であり、具体的な内容まで説明できたのは5%であった。ほとんどの児童が「食料自給率低下」の問題について知らないという実態を踏まえ、身近な食料品の中には多くのものが輸入されている事実を取り上げ、食料品輸入の「よい点と問題点」を話し合うことで、これからの我が国の食料生産の在り方に目を向け、今後の日本の食料生産はどのようにするべきかという考えをもてるようにしたい。

○指導に当たっては、単元の導入過程で現在の豊かな食生活の様子の写真を提示し、現在の食生活の状況を捉えさせる。さらに、このような状況を作り出した原因の1つが戦後の社会状況の変化であったことを知ることで「今後の日本の食料生産のあり方について考えよう」という単元を貫く課題を提示する。

展開1では、30~40年ほど前の食材と現在の食材の写真を提示し、どのように変化してきたのかについて話し合ったり、食料品の消費量の変化、輸入量の変化など統計グラフを用いて、食生活の変化の理由について話し合ったりする。そうすることで、戦後の日本の食生活の変化について捉えさせたい。さらに、食生活の変化に伴い、様々な影響があることについて考えさせたい。具体的には、食生活の変化を具体的に挙げさせる。その活動によって、現在は昔と比べて様々な食料が手に入るようになったなどのよいことに気付かせたい。一方で輸入の増加によって食料自給率が低くなるなどの困ることにも気付かせたい。そうすることで、日本の食生活の変化について考えさせていくのである。展開2では、食料自給率を高める方策の1つとして地産地消を挙げ、討論していく。その場面では、なぜその方策が有効なのか、あるいは有効ではないのかについて理由を考えさせていく。さらに、その理由について納得できない点には、納得できない理由についても考えさせていく。このような学習過程を経ることによって日本の食料生産の在り方について考えていく契機としたい。終結の過程では、単元を貫く課題に対しての自分の考えを書かせていく。その意見文を自己評価させたり、相互評価させたりして自分の考えの深まりを実感させたい。

3 単元の目標と学習評価

(1) 単元の目標

食料の自給率の低下，食生活の変化，食料の安全性，環境への配慮など，今日の食料生産を取り巻く現状と問題について具体的に調べ，これからの食料生産の在り方について考えることができる。

(2) 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
① 我が国の様々な食料生産の様子に関心をもち，意欲的に調べている。 ② 国民生活を支えている我が国の様々な食料生産の発展を考えようとしている。	① 我が国の様々な食料生産について，学習問題や予想，学習計画を考え表現している。 ② 我が国の食料生産について調べたことを比較したり関連付けたり総合したりすることで食料生産について考え，適切に表現している。	① 地図や年表，その他の資料を活用して我が国の食料生産について必要な情報を集め，読み取っている。 ② 調べたことを整理してノートやその他の資料にまとめている。	① 様々な食料生産が国民の食生活を支えていること，食料の中には外国から輸入しているものがあることを理解している。 ② 我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色などを理解している。

4 指導と評価の計画(全6時間)

過程	時配	主な学習活動	指導上の留意点	評価
導入	1	○スーパーマーケットの食品売り場の写真を基に，気付きを出し合う。 ○食に関する新聞記事を読み，様々な問題が起きていることをつかむ。 ○単元を貫く課題を設定する。	○スーパーマーケットの食品売り場には様々な種類，様々な国から輸入された食料があることに気付かせる。 ○我が国では食料生産について様々な問題が生じており，容易には解決ができないことを認識させるために気付きを交流する場を設定する。	○食に関する問題について考えることで食料生産について関心をもち，意欲的に調べようとしている。 【関心・意欲・態度①】 ○食料生産について問題が起きている理由を予想し，学習問題を考え表現している。 【思考・判断・表現①】
展開 1	2	○食に関する問題から輸入や自給率について理解する。	○輸入や自給率についての用語を，図を基に考えさせる。	○食生活の変化によって，食料品の輸入が増えていることを理解している。 【知識・理解①】
	3 (本時)	○30～40年ほど前の食材と現在の食材の写真を	○昔はあまりなかった食料品が食卓にあることに気付か	○食料生産を輸入に頼っている問題点を表

		<p>基に、どのように変化してきたのかについて話し合う。</p> <p>○食料品の消費量の変化，輸入量の変化など統計グラフを用いて，食生活の変化の理由について話し合う。</p>	<p>せる。</p> <p>○食生活の変化によって食料生産が変化し，食料自給率が変化していることに気付かせる。</p> <p>○輸入に頼ることで日本にとって困ることがあることに気付かせる。</p>	<p>現することができる。</p> <p>【思考・判断・表現②】</p>
展開 2	4	<p>○食料自給率が低いという問題を解決できる方策について話し合う。</p> <p>○食料自給率を高める方策について決定する。</p>	<p>○新聞やニュースなどを基に，食料自給率を高めることができそうな方策を考えさせる。</p>	<p>○資料を活用して我が国の食料生産について必要な情報を集めている。【技能①】</p> <p>○主な食料生産物の分布や土地利用の特色などを理解している。【知識・理解②】</p>
	5	<p>○討論の論題設定と意見の作成をする。</p> <p>○相手の意見を予想し，反論を考える。</p>	<p>○食料自給率を高めることができる方策のメリットやデメリットに気付かせる。</p>	<p>○我が国の様々な食料生産の発展を考えようとしている。</p> <p>【関心・意欲・態度②】</p>
	6	<p>○討論をする。</p> <p>「日本は地産地消を積極的に進めていくべきである。賛成か反対か。」</p>	<p>○根拠を基に意見を述べたり，反論したりしている児童を称賛する。</p> <p>○地産地消に賛成する理由，反対する理由について考えさせる。</p>	<p>○日本の食料生産の在り方について考え，表現している。</p> <p>【思考・判断・表現②】</p>
終 結	7	<p>○討論の内容やこれまでの学習を想起して，意見文を書く。</p> <p>○意見文を自己評価したり，相互評価したりする。</p>	<p>○書き方の例を事前に配布する。</p> <p>○調べた内容や討論の内容を活用して意見文を書けるように，友達の文章と比較させる。</p>	<p>○調べたことや考えたことを整理してノートやその他の資料にまとめている。</p> <p>【技能②】</p>

5 本時の指導

(1) 本時の目標(3 / 7)

- ・グラフの読み取りから、食生活が豊かになった一方で、輸入できない場合に食料が不足するなどの問題が生じることがあることについて記述することができる。

(社会的な思考・判断・表現)

(2) 本時の指導案

学 習 活 動	教師の働き掛け(・)と【評価】
<p>1 今と昔の食料の違いについて確認する。</p> <div data-bbox="172 544 707 712" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈確認する内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔はパイナップルはなかった。 ・今はたくさんの食べ物がある。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べてきた内容を基に、今と昔の食料の違いについて話し合わせる。 ・食生活の変化によって様々な食料が日本で手に入るようになったことを想起させる。
<div data-bbox="233 745 1353 801" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>食生活の変化と食料生産について考えよう。</p> </div>	
<p>2 食料品別の消費量の変化を読み取る。</p> <div data-bbox="159 925 694 1081" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈予想される発言〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主食のお米が減っている。 ・乳製品や小麦の消費量が増えた。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料集の食生活に関する写真を確認させ、変化を確認させる。 ・黒板に写真を掲示することで変化してきたものを確実に押さえる。
<p>3 食料品別の輸入量の変化，日本の自給率の変化を読み取る。</p> <div data-bbox="159 1216 722 1429" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈予想される発言〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米以外のほとんどの食料品の輸入量が増えている。 ・日本の自給率は他国と比べて低い。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入量が増加していることや自給率が低下していることについて確実に押さえる。 ・輸入の増加と自給率の低下は表裏一体のであることを理解させる。
<p>4 輸入の増加によって困ることについてノートに記入する。</p> <div data-bbox="145 1552 707 1809" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈記入させたい内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国で災害などが起きたら日本に輸出できない。 ・外国から輸入できない場合，食料が足りなくなる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入の増加によって困ることが起きるか視点を換え、考えさせる。 ・外国の飢饉の資料を提示し、今後の食料事情について理解させる。 ・輸入の増加によるマイナス面が捉えられない児童には、掲示した写真を確認させ、輸入できなくなることなどについて具体的に考えさせる。
<p>5 食料生産の今後について考えさせる。</p> <div data-bbox="159 1888 722 2056" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈予想される発言〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料生産を見直すべき。 ・自給率を高めるべき。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の日本の食料生産の在り方について考えさせる。 ・食生活の変化によって多くの食料を輸入していることに気付き、食料自給率を上げていくことの大切さを理解させる。

<p>6 食生活の変化についてノートにまとめ、発表する。</p> <p>7 本時の学習を振り返り、自己評価したり、相互評価したりして書いた文章の修正を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「おおむね満足」(B) の記述例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活の変化によって、食生活は豊かになった。しかし、輸入が多くなったため、外国からの輸入がストップした場合、食料が不足することが考えられる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の変化によって、食生活が豊かになった一方で、輸入ができなくなった場合困ることがあることを理解させる。 ・記述する内容をまとめさせる。 ・友達の見解を聞くことで書いた文章の不十分な点に気付かせる。 ・食生活が豊かになったこと、食料生産を輸入に頼ると困ることがあることをノートに記入させる。 <p style="text-align: right;">【評価】</p>
--	---

(3) 本時の評価

評価 規 準	日本の食生活の変化と食料生産の課題について考えることができる。 【社会的な思考・判断・表現】		
評価の基準 →支援	A	B	C
	グラフを基に、食生活の変化の内容や食料生産の課題の具体的な内容について記述している。	食生活の変化を豊かになった反面、輸入できなくなったら困ることがあることについて記述している。 →食生活の変化の内容を資料を基に具体的に書くように声をかける。	Bに達していないもの →食生活の変化のよいこと、課題を具体的に想起させて2つの面があったことを理解させていく。
評価方法	ワークシート		